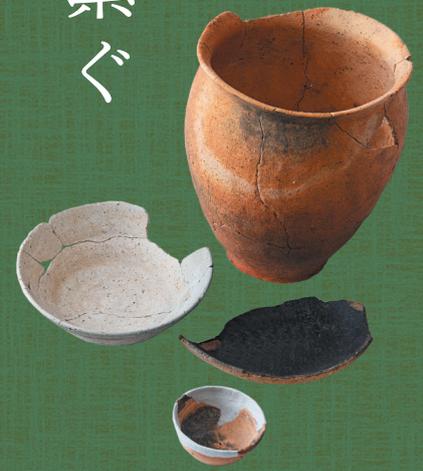




東北の文化財の専門家が

大切な文化を未来に繋ぐ





文化財調査室の発足の背景と目標

私たち「三協技術」は、地域に根ざした建設コンサルタントとして地域経済の発展と向上に貢献することを社会使命として歩んできました。建設コンサルタント業を中心に測量・地質調査・補償業務・建築設計などの建設関連業を展開し、社会インフラ整備に携っております。一方で、地元の企業として、文化財を後世に守り伝えたいという思いから埋蔵文化財事業に参入し、その後発生した東日本大震災に伴う緊急発掘調査に対応するため、文化財調査

室を新設して発掘調査をはじめ、遺物の基礎整理から報告書作成、また考古資料のデータベース化などを担当してまいりました。今後の目標としては、コンサルタントとして培った土木技術の経験や弊社の建設関連業に関わる幅広い技術者の専門技術や調査機器を埋蔵文化財調査に用いることで、新たな技術の導入や文化財に関連した事業の更なる発展を目指していきたいと考えております。

業務内容

- 埋蔵文化財発掘調査
- 遺物整理
- 保存修復
- 歴史や風土を活かしたまちづくり案の作成
- 遺跡測量
- 報告書作成
- 史跡整備設計
- 監理

三協技術がめざすもの ～知り、守り、伝える文化財～

東日本大震災後、先人たちが各地に残した津波の到達を記した石碑などの「津波史跡」が注目されました。現在、津波で甚大な被害を受けたこれらの地域は災害危険区域に指定され、条例で住宅の新たな建設を禁止する区域となり、石碑に記されているように『ココカラシタニエヲタテルナ』となりました。後世に残された教訓としてその価値が見直された例といえます。このような例をはじめに、遺跡の発掘調査で地震や洪水、噴火などの災害の痕跡が発見されることがあり、ここから先人たちが災害を乗り越えたくましく生きてきた姿や知恵を知ることができ



ます。これらの先人たちが生きた証としての文化財を保存し、それを広く伝えていくことは、現代を生きる我々の使命ともいえます。私たちは、東北地方に本社を構える企業として、文化財を通して得られる東北の土地利用の歴史や災害の記録などを踏まえ、これらを社会資本整備や安全なまちづくりに活かしたいと考えています。また、これらのハード面とともに、地域の「文化財」を守ることだけでなく、「観光」・「コミュニティ振興」など新たな分野と密接に連携し、「活用」していくことで、建設関連業と文化財の知識や技術を融合し双方の視点から地域の発展に貢献していきたいと考えております。



これまでの実績

- 宮城県仙台市桜ヶ丘公園遺跡(発掘調査・報告書作成)
- 宮城県仙台市羽黒前遺跡(発掘調査・報告書作成)
- 宮城県気仙沼市波怒棄館遺跡(土器実測・トレース)
- 宮城県気仙沼市台の下貝塚(石器・骨角器実測・トレース)
- 宮城県大崎市通木田中前遺跡(土器・石器類実測・トレース)
- 宮城県石巻市中沢遺跡(遺物整理・遺物写真撮影)
- 山形県天童市礼井戸遺跡・高掬東遺跡(発掘調査・報告書作成)
- 山形県上山市藤木遺跡(発掘調査・報告書作成)
- 山形県寒河江市高瀬山遺跡(発掘調査・報告書作成)
- 山形県大江町元屋敷遺跡(発掘調査・報告書作成)
- 福島県川俣町神宮寺遺跡(発掘調査)
- 福島県浪江町鹿屋敷遺跡(発掘調査)
- 福島県浪江町赤坂D遺跡(発掘調査)
- 福島県郡山市徳定A・B遺跡(発掘調査)



独自のノウハウと強み

01 / 経験豊富なスタッフ

文化財に精通した専門の埋蔵文化財調査士・学芸員・測量士・土木施工管理技士などの有資格者による業務支援を行っております。また、東北の文化財に精通した埋蔵文化財行政・博物館勤務経験者なども在籍しており、発掘調査はもとより文化財の保存や活用に関するご要望にもお応えいたします。

03 / 柔軟なサポート

発掘調査、報告書作成、その他の対応までトータルでサポートできることが弊社の強みです。本調査前の試掘、遺物整理、図面の作成など部分的なご要望にも専門のスタッフが適切に対応いたします。その他、文化財に関わることで気になることがございましたら、なんでもご相談ください。皆様にご相談いただけるパートナーシップを心がけています。

02 / 確かな技術

これまで培ってきた専門的知見をもとに、更なる技能や資質の向上に取り組むとともにUAVや3次元レーザースキャナなど最新機器を積極的に活用し、作業の効率化や精度の向上に努めております。また、若手社員の技術向上のために、社内研修や勉強会を実施しているほか、安全管理をはじめとする各種講習会にも積極的に参加しています。

04 / 新しい取り組み

発掘調査においては、積極的に新技術を導入して現場作業のDX化を推進しています。この他、民具の整理・活用業務、文化財のデジタルアーカイブ化、防災・耐震対策、文化財地域活用計画の策定など、文化財を次世代に継承していくための取り組みなども行っております。また近年の異常気象による猛暑や作業員の高齢化対策として、安全に現場業務が進められるよう労務環境の改善にも取り組んでいます。



社外・室外での取り組み

高度化・多様化した社会に的確に応えるためには専門分野のみならず、幅広い領域において深い知識や技術の取得が必要になります。特に情報にあふれた現代社会においては、新たな発見や新技術などが日々更新されていきます。そのため、弊社では文化財に関

する各種学会や研究会に所属し、専門誌への寄稿、講演会や遺跡報告会での発表などを通じて常に専門知識を習得するため研鑽に努めております。文化財保護に関する調査、研究を通じて貴重な国民の共有財産である文化財の保護環境向上に寄与してまいります。

所属学会・研究会等

- 日本考古学協会
- 山形考古学会
- 千葉縄文研究会
- 古窯跡研究会
- 日本文化財保護協会
- 宮城県考古学会
- 東北民俗の会
- 土偶研究会
- 青森県考古学会
- 埼玉考古学会
- 日本民具学会
- 小金銅仏研究会



広報誌『温故知新 東北』

文化財調査室の取り組みの一つとして、広報誌『温故知新 東北』を発行しております。東北の文化財をキーワードに、各号でテーマを決めてさまざまな視点から文化財の「今」を発信するツールです。ご希望の方には、バックナンバーを差し上げますので、ご連絡ください。



文化財調査室長より皆様へ



宮城県仙台市に拠点を置いております当調査室は、これまで、宮城県、青森県、山形県、福島県内の文化事業団(財団)・市町教育委員会・民間会社の皆様からのご依頼を受け、発掘調査・遺物整理・報告書作成などの業務を担当してまいりました。また広報誌『温故知新 東北』を発行し、調査室としての関心事を話題として取り上げ、発信・提供していくという取り組みも行っております。これらがきっかけで、民俗資料整理や文化財指定に関するご相談を賜ることもございました。新たな文化財関連業務のご提案もさせていただいております。

文化財関連の世界も以前とは比較にならないくらい機械化、デジタル化が進んでおり、私たちの組織といたしましても、情報に遅れないよう日々研鑽しているところでございます。

文化財は地域の宝です。今後とも皆様と一緒に、地域の宝を調査・継承していきたいと考えております。

文化財調査室長 結城 慎一



よくあるご質問

Q 何から相談したら良いかわからない。

A 経験豊富で専門的知識のあるスタッフが、ご相談の内容に沿ってゼロからご提案いたします。

Q 発掘にどのくらいの費用がかかるか心配。

A 専門のスタッフが現場の状況や内容をよくお聞きした上で、お見積りを作成いたします。

Q 民間の調査機関では、どのような質の調査を行えるのか不安。

A 公的な研究機関ではありませんが、文化財の行政経験者が多く在籍しており、知識や技術・進行の面でもご安心いただけると思います。また、業務を行う際には、教育委員会などとの連携や確認を取りながら進めてまいりますので、ご安心ください。

Q あまり時間がない調査をお願いしたいが、引き受けてもらえるものか。

A 当調査室の特徴の一つが、フットワークの軽さです。文化財に特化した調査チームだからこそ発揮できるスピード感で、お客様のご要望にお応えいたします。

Q 調査箇所が宅地や耕作地、公共構造物などに近接している場合、どうしたら良いか。

A 弊社の都市計画部門や建築部門などの専門部署と連携し、的確な対策や調査方法をご提案いたします。

Q 新技術による調査や実測方法が気になるが、費用がいくらかかるかわからないので頼みにくい。

A ご要望があれば、サンプルをお持ちしたり、デモを行うことも可能です。また、3Dモデルの作成からトレース図の完成まで、ご予算に応じて工程ごとのご依頼にも対応いたします。



Construction Consultant
株式会社三協技術



〒980-0803
宮城県仙台市青葉区国分町三丁目8番14号 SANKYO 国分町ビル
TEL.022-224-5503 FAX.022-224-5509

錦町事務所 文化財調査室

〒980-0811
宮城県仙台市青葉区錦町一丁目6番34号3F
TEL.022-281-9655 FAX.022-281-9677